

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2002-57893 (P2002-57893A)
 【公開日】平成 14 年 2 月 22 日 (2002.2.22)
 【出願番号】特願 2000-241761 (P2000-241761)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/40
 B 4 1 J 29/38
 G 0 3 G 21/00
 G 0 6 F 3/12
 G 0 6 T 1/20
 H 0 4 N 1/00

【F I】

H 0 4 N 1/40 Z
 B 4 1 J 29/38 Z
 G 0 3 G 21/00 3 7 6
 G 0 6 F 3/12 C
 G 0 6 T 1/20 A
 H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 4 月 26 日 (2004.4.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

画像入力装置及び画像出力装置あるいはそれらのいずれかと情報の通信が可能な画像処理装置であって、
画像処理を伴う所定の動作が指定された際に、前記所定の動作で使用する画像入力装置及び画像出力装置あるいはそのいずれかを決定する決定手段と、
前記決定手段により決定された装置から、画像処理プログラムを前記画像処理装置にロードする手段と、
前記決定手段により決定された前記装置を使用して画像の入出力を行うと共に、前記ロードされた画像処理プログラムにより画像処理を行う画像処理手段と
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

画像入力装置及び画像出力装置あるいはそれらのいずれかと情報の通信が可能な画像処理装置であって、
画像処理を伴う所定の動作が指定された際に、前記所定の動作で使用する画像入力装置及び画像出力装置あるいはそのいずれかを決定する決定手段と、
前記画像入力装置及び画像出力装置あるいはその組合せに対応して構成された画像処理プログラムを格納する格納手段と、
前記決定手段により決定された装置を使用して画像の入出力を行う際に、前記決定された装置に対応する画像処理プログラムを前記格納手段から読み出し、前記画像に対して前記画像処理プログラムを用いた画像処理を行う画像処理手段と

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 3】

サーバと、画像入力装置及び画像出力装置あるいはそれらのいずれかと情報の通信が可能な画像処理装置であって、
画像処理を伴う所定の動作が指定された際に、前記所定の動作で使用する画像入力装置及び画像出力装置あるいはそのいずれかを決定する決定手段と、
前記決定手段により決定された装置に対応して構成された画像処理プログラムを前記サーバから前記画像処理装置にロードする手段と、
前記決定手段により決定された前記装置を使用して画像の入出力を行うと共に、前記ロードされた画像処理プログラムにより画像処理を行う画像処理手段と
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

前記画像入力装置及び画像出力装置あるいはその組合せに対応して構成された画像処理プログラムを格納する格納手段と、
前記ロードされた画像処理プログラムと、前記決定手段により決定された前記装置に対応する、前記格納手段に格納された画像処理プログラムとの、いずれが適当か判定する判定手段とを更に備え、
前記判定手段により前記格納手段に格納された画像処理プログラムの方が適当であると判定された場合、前記ロードされた前記画像処理プログラムに替えて、前記格納手段に格納された画像処理プログラムを使用することを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

画像入力装置及び画像出力装置あるいはそれらのいずれかと情報の通信が可能な画像処理装置の制御方法であって、
画像処理を伴う所定の動作が指定された際に、前記所定の動作で使用する画像入力装置及び画像出力装置あるいはそのいずれかを決定する決定工程と、
前記決定工程により決定された装置から、画像処理プログラムを前記画像処理装置にロードする工程と、
前記決定工程により決定された前記装置を使用して画像の入出力を行うと共に、前記ロードされた画像処理プログラムにより画像処理を行う画像処理工程と
を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 6】

画像入力装置及び画像出力装置あるいはそれらのいずれかと情報の通信が可能な画像処理装置の制御方法であって、
画像処理を伴う所定の動作が指定された際に、前記所定の動作で使用する画像入力装置及び画像出力装置あるいはそのいずれかを決定する決定工程と、
前記決定工程により決定された装置を使用して画像の入出力を行う際に、前記画像入力装置及び画像出力装置あるいはその組合せに対応して構成された画像処理プログラムを格納した格納手段から、前記決定された装置に対応する画像処理プログラムを読み出し、前記画像に対して前記画像処理プログラムを用いた画像処理を行う画像処理工程と
を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 7】

サーバと、画像入力装置及び画像出力装置あるいはそれらのいずれかと情報の通信が可能な画像処理装置の制御方法であって、
画像処理を伴う所定の動作が指定された際に、前記所定の動作で使用する画像入力装置及び画像出力装置あるいはそのいずれかを決定する決定工程と、
前記決定工程により決定された装置に対応して構成された画像処理プログラムを前記サーバから前記画像処理装置にロードする工程と、
前記決定工程により決定された前記装置を使用して画像の入出力を行うと共に、前記ロードされた画像処理プログラムにより画像処理を行う画像処理工程と
を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 8】

前記画像処理装置は、前記画像入力装置及び画像出力装置あるいはその組合せに応じた画像処理プログラムを格納する格納手段を備えており、

前記ロードされた画像処理プログラムと、前記決定工程により決定された前記装置に対応する、前記格納手段に格納された画像処理プログラムとの、いずれが適当か判定する判定工程とを更に備え、

前記判定工程により前記格納手段に格納された画像処理プログラムの方が適当であると判定された場合、前記ロードされた前記画像処理プログラムに替えて、前記格納手段に格納された画像処理プログラムを使用することを特徴とする請求項 1 2 に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 9】

請求項 5 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置の制御方法をコンピュータにより実行させるためのコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ可読記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、画像処理プログラム自体を画像入力装置あるいは画像出力装置に対応させて作成・変更することは容易であっても、画像処理装置に接続された画像入力装置及び画像出力装置に合わせて、適切な画像処理プログラムを画像処理装置に用意しておく必要があった。このために、接続された画像入力／出力装置に最適な画像処理プログラムを利用者が選択し、それをロードするといった手間が、画像入力／出力装置の使用に際しては不可欠であった。